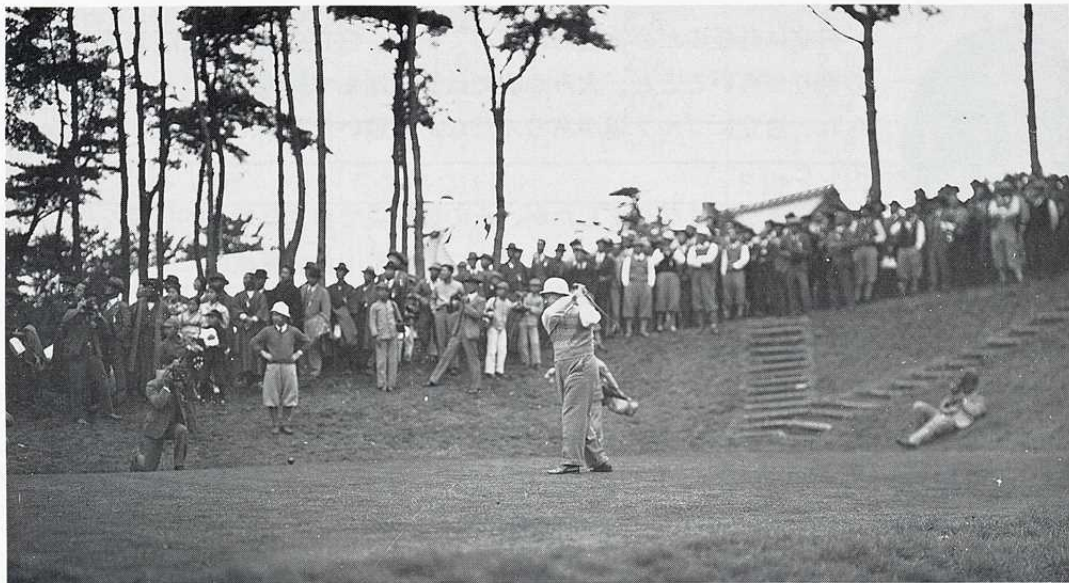


# 日立シニア会

第5号

平成11年4月12日

大みかゴルフ日立シニア会会報



大みかGC開場記念トーナメントのスタート (S11.10.11)

## 私のゴルフ遍歴

広報委員長 久保寺 朝 二



揺籃期……私ども年代の者がゴルフを始めた時は、若干躊躇を感じたものです。「厄を越してから」これが偽らざる心境でした。正に厄年の昭和39年に先輩に連れられて、大みかコースでプレーしたのがそもそもの筆下しでした。当然ボールは右に左に飛んで、先輩方の3倍は優に歩いたものでした。ゴルフを終った後でご馳走になった1本のビールで、グロッキーになった懐かしい思い出があります。

成熟期……仕事の関係で昭和46年から17年間、福島、京浜地区に単身赴任の生活を余儀なくされました。必然的にこの期間はプレーする回数が飛躍的に多くなりました。横須賀に13年在住したお陰で、川奈をはじめ神奈川県の多くの名門コースでプレーする機会に恵まれたことは、誠に幸運だったと思っております。昭和47年日立GCでホールインワンを経験したのもこの時期でした。

衰退期……「七十而従心所欲」の年令になって、元々飛ばない飛距離が益々落ち、スコアも悪くなってきたのは、自然の摂理だと思っております。現在はスコアを気にせず、気の置けない仲間と楽しくプレーする「健康管理ゴルフ」に宗旨替えをしております。その一つにシニア会の長老連の仰せに従って、月に一回大みかコースでプレーをするGS会（別名敬老会）の世話役を受け、長老連の元気に圧倒されながらゴルフを楽しんでおります。

これまでに一緒頂いた同好の友に心から感謝申し上げ、尚同伴競技者延六千人を目指してラウンドを楽しみたいと考えております。

「喜寿迎え足腰とみに衰えど、千歳いとわず打ちてし止まむ」



## 大みかゴルフ場との出会い

A組 結城正康



日立に赴任のため常磐線に初めて乗り、日立に着くまで、車内での茨城弁の判りづらいことと、大みか駅では線路端まで緑地がありゴルフ場だと知らされ、日立にゴルフ場があるんだなあと驚いた次第です。私が26歳のころでした。

前置きが長くなりましたが、その後戦災で日立は壊滅的打撃を受け、私も生命を長らえた一人でした。ゴルフ場は戦中食糧事情のため畑化され、各工場の若手が開墾にかりだされ私もその一人でした。全コースが畑にされず一

部が残り、今のホール数が維持されたことは不幸中の幸でした。

42歳でメンバーになりましたが、入会時は会員数が多く、初心者は満足な練習ができない状況で、先輩のアドバイスもあり悪天候時に率先して通い腕を磨いたものでした。当時特にマナー、エチケットの番人と云われた人見さんには迷惑のかけ通しであったことが思い出されます。今それが大きく実を結び、他にも呼びかけられる様にもなりました。

目下腕前は現役中よりもはるかに？上達しております。クラブを握る回数が多いせいでしょう。毎回のゴルフを通じいろいろな方とのお付き合いで有益なお話等を頂戴し、貴重な教訓と今を過ごしております。80歳の今日この頃です。

## ゴルフ事始め

A組 山崎精二



ゴルフを始めたのは忘れもしない昭和42年4月、当時42歳だった。故田口日研所長が「部長になったからにはゴルフ位やれ」と言われた。丁度その年の秋に大学卒業二十周年にあたり、伊豆で懇親会の翌日恩師と共にゴルフの計画になっていた。切角ならゴルフにも参加しようと、半年あれば物になろうと「お願いします」と始めることになった。

田口さんは単身赴任で、大みかクラブに泊っておられたので、定時退勤日に、(國)日研分室から新購入のゴルフバックを持ってかけつけた。

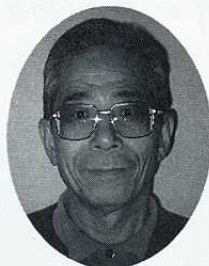
田口さんは「ゴルフの基本はマナーだ。今日はマナーを教える」と、1日目は二人のバックを持って田口さんの後をついていった。ティグラウンドでは「離れて直立不動でおれ」……。

2回目にやっとアイアン練習場で一寸手ほどきをしてもらった。しかし3回練習しただけで、田口さんは本社にご栄転になった。「田口さん！ マナーだけではひどいではないですか」と文句を言っても始まらない。

秋の同窓会のゴルフは大熱海ゴルフクラブという山谷コース4～5回やっただけの私のスコアは、ハンディ36を引いても110以上だったことは言うまでもない。

## ANACONDA

B組 高島祐吉



心に残る痛恨の3パット。これは、ゴルフゲームのことである。ゴルフの楽しみ方にはオリンピック、星の王子様、お友達、アナコンダなど数々あるが、一般的なオリンピック、数種類の組合せ型、あるもの全部の握り魔型と様々だ。

さて、アナコンダ（中南米に生息する世界最大の蛇）が3パットに係わるゲームである。通常は、同伴者全員の数を繋ぎながら、ハーフ単位で決着する。その時は、お互い期するものあってか、18ホール繋ぎに決った。毎度のことながら、グリーン上ではパットのたびに大蛇が移り変わるの大賑わいだ。グリーンの難しさも手伝って12個が最終ホールの勝負となった。緊迫した雰囲気の中、前のホールで大蛇になったAさんが、がっくりした表情でフィニッシュ、次なる私の最終パット……、無常にもカップに蹴られての大逆転、啞然としている傍らでは、観念していたAさんが歓喜の万歳をしていた。これがアナコンダの醍醐味と言うものか、悔やまれる痛恨の3パットだった。

## スコットランドのゴルフ

C組 志村浩道



平成9年（5月31日～6月12日）大学時代の同級生8名でスコットランドゴルフツアーを楽しんだ。近代ゴルフ発祥の地、世界中のゴルファーの聖地、セント・アンドリュース・オールドコースでプレー出来た事は生涯の喜びである。このコースを含みスコットランドで5か所のコースでプレーしてみたが、日本のゴルフとの違いは先ずスコットランドでは1番ホールをスタートしたら18番ホールまで休みなしにプレーする。その間売店もトイレも何もない。次に日本ではグリーンに近づいて行くと150Yと100Yに何等かの目印になるものがあるが、スコットランドでは何もない。ボールとグリーンとの距離は自分で判断してプレーするしかない。第三にスコットランドではフェアウェーを外すと、ボールが見つからないか、見つかっても草が伸び放題になっているためショット出来ない事が多い。私はスコットランドでゴルフの原点を知った。このツアーの翌年、平成10年にはゴルフを始めてから25年間出来なかったホールインワンが6月1回、9月1回と2度も達成出来た。今後も健康に留意しながら、ゴルフを楽しんで行きたいと思っている。



## 小平さんと大甕ゴルフ（表紙写真ご参照）

創業の心・青年小平浪平に熱き志をみる【日立総合経営研修所 編纂】によれば『小平さんがゴルフを始められたのは、大正14年4月24日で自筆年譜に「ゴルフ練習を始む」とある。この時52歳。実はこの前、3月19日に保ヶ谷カントリー倶楽部（日本最初の18ホールゴルフ場、大正11年オープン）に入会している。この後、熱心にプレーしたが、全て日曜日且つ、腰弁持参もしばしばだったという。なお、保ヶ谷で二回ホールインワンが記録されている。

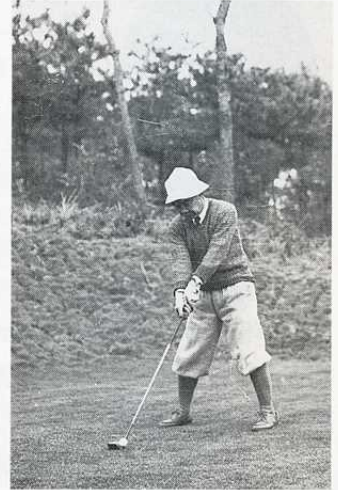
日立創業25周年の昭和10年に大甕GC（18ホール、6,650ヤード、パー74）設立を企図するに至る。小平さんのゴルフぶりを同好の士、下村海南氏（大学の一年先輩にして、国务大臣、朝日新聞社副社長）は「小平さんの思ひ出」で次のように評している。

「小平さんのかわりなさ加減というものは人間がゴルフをやっているのではない、機械がやっている如くである。歩きぶりもコンパスが動いているに異ならず、千篇一律というが、あのくらい変化のない単調なゴルフは一寸類例がありません。ゴルフを遊ぶと誰でも時々歓声を発したり、「しまった！」と嘆声を上げるものですが、小平君はそういう破格な声は出さない。小平君のゴルフはいつやっても大体似た成績であんな機械的なゴルフは他に見出すことは出来ない。まさしく小平君はゴルフまで日立式で一貫したのであります。」とあります。

ゴルフをこよなく愛された小平さんのお人柄が偲ばれる一文であります。表紙写真は大甕GC開場式（昭和11年10月11日）記念トーナメント第一組スタートという記念すべき一瞬で、万感の思いを込めて見守る小平さん（土手中央）のネクタイにニッカポッカのお姿が実に印象的です。

《高鳴りて飛びゆく球を目伝えば久慈の浜辺に波おどる見ゆ》 海南

開場間もなく大甕GC（当時は日立ゴルフ倶楽部と称す）を訪れた下村氏がクラブのベランダに立たれてその美しさに大いに感動され即詠されたもの。このコースは霞ヶ関や大洗などの名コースを手がけられた井上誠一氏設計で戦前には珍しい本格的なシーサイドコース、その雄大で天空快闊な景観は息をのむ美しさであったと云います。誠に残念ながらこの茨城最古のコースは昭和11年から18年の頃までとその命は短かく、戦時中2台のグライダーをコースにおいてその練習所とするなど保持に努めましたが順次食料増産の場となるなど昭和18年国策で閉鎖されて、同19年秋、前線基地として兵舎や濠が作られ、クラブも将校宿舎となりコースは荒れる一方でした。戦後初めて天皇陛下をご案内された小平さんはクラブに一泊、変わり果てたコースの姿に



暗然として立ちつくされたということです。……移りゆく時とともにゴルフ愛好者は急増し戦前の誇るべきコースを偲びながら徐々に拡大整備され現在の8ホール(全長2,292ヤード、パー30)に至りました。翁の偉業・大甕GCが無ければ日立シニア会も現在の四百余名の隆盛は有り得なかったでしょう。開場式当日の小平翁のティショット(前頁掲写真)は今日を予見した自信に満ち溢れたものであり、そして今日も我々のラウンド振りを天空の彼方から慈父の眼差しをもって見守っておられ吾人の破格な嘆声に苦笑されておられることであらましよう。

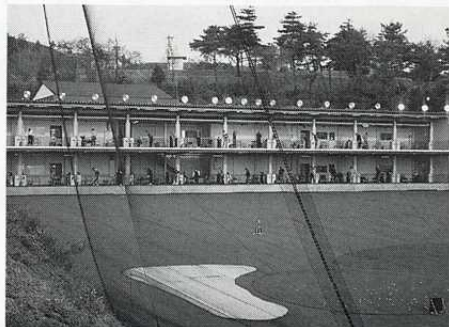
広報委 吉田晴彦記

## MY DRIVING RANGE (私の行きつけ練習場ご紹介)

紹介者 吉田晴彦

### 日立兎平ゴルフセンター 日立市城南町1-14-20

日立兎平から七曲がりの坂道を上って日立・志学寮の裏。六号国道からも丘上のネットが見えるので判り易い場所。朝早くから練習熱心なゴルファーで賑わっています。打席数は44打席で遙かに紺碧の太平洋も望見でき、浩然の気を養いながらのショットの醍醐味は知る人ぞ知る。ボールはプリペイドカードによるオートティアップで打球の飛距離も充分。サロンでの一服は親切なレセプションの屈託ない対応で家庭的な雰囲気。プロ・レッスン会、試打クラブ提供、使用済カードでサービス球、近傍コース割引斡旋等の便宜が図られています。



営業時間 6:00~21:30(冬期平日8:00~)

料金 入場料200円(朝9時まで無料)、

打球代9円/球(朝9時まで入場6円/球)、夜間照明料100円

## 白戸プロレッスンシ学会開催

平成10年12月18日実施

第3回題記レッスン会がコース練習場で行われ、会員五十数名が参加した。レッスンは、①ドライバー、②アプローチ、③バンカーショットについて、基本説明、模範演技、個別指導の順で進められた。

参加者は懇切丁寧な指導に納得しながらレッスンを受けることができ、大きな効果があったと思う。参加者の飛躍が期待される。

最後に白戸プロから「来年は優勝を目指す」との挨拶があり、参加者は健闘と謝意を表し、拍手をおくり正午散会した。

(総務委員会)





## 競技会成績

### ◎第151回競技会成績

☆ A組	H10.11. 5	G	H	N	新H
優勝	田島 増陸	85	17	68	10
準優勝	藤本 裕	104	36	68	27
3位	石崎 幸	87	16	71	13
B G	青木 忠	85			



田島 増陸

### 優勝者のことば

はじめて出たスコアに自分で驚いています。①天候よし ②同伴者に恵まれたこと③新宮投資（前はチタン#1、今回はチタン#7）及び健康に感謝しております。

☆ B組	H10.11.19	G	H	N	新H
優勝	坊坂 明	81	11	70	7
準優勝	矢崎 智	94	24	70	19
3位	鈴木 敏彦	82	11	71	9
B G	坊坂 明	81			



坊坂 明

実力3分、運7分。萱野さん、横須賀さん、梅沢さんたちが3×3=9分の強運を私に与えて下さいました。有難う御座いました。4回目のベストを目指し精進します。

☆ C組	H10.12. 3	G	H	N	新H
優勝	壁谷 宗春	91	23	68	15
準優勝	坂本 久	85	13	72	11
3位	菅谷 恒朗	86	14	72	13
B G	坂本 久	85			



壁谷 宗春

FWショットはお粗末でしたが、ショートアイアンとパットで何とかまとまりました。同組の蓑輪、志村、吉田さんの激励のお陰と感謝しています。

### ◎第152回競技会成績

☆ A組	H11. 3. 4	G	H	N	新H
優勝	綾部平八郎	105	36	69	26
準優勝	小沼 栄	95	23	72	20
3位	中山 恵	87	14	73	13
B G	青木 忠	87			



綾部平八郎

シニア会入会から10年経過したが、賞らしいものはBB賞が1回のみで、今回計らずも優勝できて嬉しく思います。毎週のように下さん、中川さんに誘われて精進したお陰であり両氏に感謝しています。

☆ B組	H11. 2. 18	G	H	N	新H
優勝	遠藤 昭儀	86	20	66	11
準優勝	栗本 茂	102	36	66	25
3位	涌井 滋	83	15	68	10
B G	鈴木 敏彦	79			



遠藤 昭儀

いつも100を切れないゴルフばかりで優勝などと言うことは夢のようでした。どういうわけかパットが好調で、1パットが8回もあり好スコアにつながりました。これからも精進します。

☆ C組	H11. 2. 4	G	H	N	新H
優勝	蓑輪 勉	79	8	71	6
準優勝	安達 好夫	91	20	71	16
3位	藤田 誠悦	93	22	71	19
B G	蓑輪 勉	79			



蓑輪 勉

久しい願いであったシニア会での優勝とベストを一度にいただき感激です。シニア会のためにさらに精進します。有難うございました。

# 委員会便り

## 総務委員会

### 1. 会員数現況（平成11年1月31日現在）

(人)

地区別	A組	B組	C組	合計
日立地区	72	88	97	257
ひたちなか地区	19	27	20	66
水戸・東海他地区	16	35	22	73
合計	107	150	139	396
年齢区分	S 3.3.31以前		S10.4.1以降	

### 2. 新入会員（平成10年9月～平成11年2月）

No.	入会	氏名	HDC	出身
1	9月	金子康夫	18	(線)
2	"	根本清	19	(線)
3	"	平石清登	29	(国)
4	10月	高畑章	11	(線)
5	"	西本喜好	36	(日)
6	"	小林啓治	10	(日)
7	"	安達好夫	20	(日)
8	"	岡村参次	12	(日)
9	"	永田寿彦	17	(線)
10	"	初谷荘一	20	(線)
11	11月	荻原覚	19	(日研)
12	"	安藤進一郎	18	(珂)
13	"	斎藤修	22	(国)
14	"	杉山靖	32	(珂)
15	"	深谷淳	18	(線)
16	"	村尾勝衛	13	(線)
17	"	柏迫一民	15	(珂)
18	"	高橋克夫	23	(日)
19	"	小沼慶一	12	(本)

No.	入会	氏名	HDC	出身
20	11月	鈴木美代治	18	(お)
21	"	高砂常義	14	(日研)
22	12月	幸田智一	13	(日)
23	"	野末実信	25	(お)
24	"	馬目稔	17	(線)
25	"	吉田稔	23	(線)
26	"	清水桂二	22	(国)
27	"	国谷啓一	25	(日研)
28	"	中山健治	19	(線)
29	1月	鈴木勝男	18	(線)
30	"	畔野信政	9	(お)
31	"	森田隆昌	34	(日)
32	"	多田誠	15	(線)
33	"	小佐野勝春	25	(日)
34	2月	中野修一	9	(お)
35	"	日向成行	25	(国)
36	"	佐藤政勝	21	(線)
37	"	牛田義幸	10	(日)
38	"	佐藤弑也	10	(日研)

### 3. 退会者（平成10年9月～平成11年1月）

No.	区分	組別	氏名	備考
1	日立	A	佐藤栄之助	H10/10退会、健康上
2	ひたちなか	B	久保和一	H10/10退会、健康上
3	日立	B	ト部義清	H10/11退会、遠隔地転居
4	日立	A	須田武揚	H11/1退会、健康上
5	日立	B	小林森	H11/1退会、健康上
6	日立	B	東屋敷晃	H11/1退会、長期海外在住



## 委員会便り

### 競技委員会

新委員の紹介

会員数も400名を超え、競技会の取りまとめが大変になってきたこと、合わせて、よりよい広報を目指し、競技委員会および広報委員会、エチケット委員会に新戦力を補強致しました。新委員を紹介します。

競技委員会 ☆倉田 賢 広報委員会 ☆安達 好夫 エチケット委員会 ☆星 昌  
☆幸田 智一  
☆根本 清

### エチケット委員会

3番、6番のショートホールで、カートを手前フェアウェイに持ち込むことは認められています。プレーの進行上、バンカーに入ったり、手前に打ったりしたときには、カートを手前に入れて、前の組が終わったら直ぐに2打目を打つようにしましょう。

## 《ゴルフ川柳》

道楽も十本目なり1W	一木 利信
ミスショットミスパット肴(えさ)に酌み交し	二平 豊治
ゴルフ歴だけが自慢の年令(とし)となり	〃
下降線教えた部下に教えられ	〃
ライバルもプレー終れば旧来(もと)の親友(なか)	〃
“惜しいな、”と口と心は裏(うら)表(おもて)	〃
デイポットを埋めて笑顔のシニア会	三好 幹人
黄杭が虎で吠えても入り込む	〃
区域外教えて2罰救えたり	〃
禁なのに跡残し去るレスシューズ	〃
日脚のび飛距離も伸びて芝青む	〃
飛び賞に今日のモヤモヤ全て消え	坂本 久
腕だめし気持ちと腕が逆になり	岡村 参次
老いてなお芝が相手の日々嬉し	久保寺朝二
饅頭グリーンナイスボギーの声かかる	宮田 賢
また林今日も飛び賞狙う出来	〃
衰えを意気で乗り切るAクラス	吉田 晴彦
衰えを道具で庇うBクラス	〃
衰えを意地でも見せぬCクラス	〃